

## 第2回東北アジア未来国際フォーラム・プログラムのご案内

The 2<sup>nd</sup> International forum for North-east Asian Future

統一テーマ：激変する国際秩序の中の東北アジア地域協力可能性と課題

Subject: Possibilities and challenges for regional cooperation in rapid changing of the World order

主催：一般社団法人・東北亜未来構想研究所（INAF、日本）

Institute for Northeast Asian Future

共催：早稲田大学東アジア国際関係研究所（劉 傑所長）

モンゴル北東アジア安全保障戦略研究所（MINASS, ドルジスレン所長）

後援団体：

全日本中国朝鮮族連合会・発展基金会（徐 成日会長）

北東アジア学会（会長：金 早雪）

公益社団法人・日本モンゴル協会（理事長：窪田 新一）

公益財団法人 渥美国際交流財団（理事長：渥美 直紀）

北陸中日新聞

東北亜新聞（社長：李 東烈）

株式会社 DigiFocus（社長：金 成徳）

趣旨：

世界情勢は激動の時代を迎えている。欧米中心に形成された世界秩序は、新興国の台頭により、深刻な挑戦を受けている。とりわけ、BRICSを始めとするグローバル・サウスが国際社会での存在感を高め、新しい多極化した世界秩序の模索期に入っている。

他方、コロナ禍で深刻な打撃を受けて停滞していた世界経済は徐々に回復に向かっているが、国際社会では戦争と紛争が相次いで起き、また欧米と中ロなどの間には「新冷戦」による分断が進行しつつある。

その中で今年5月には日中韓サミットがソウルで再開され、対立の中での協力関係を模索しているのも事実である。このような情勢の中、INAF 研究所は、その趣旨の通り、未来に向けた知的交流を進めるためのプラット・フォームとして、本フォーラムを昨年8月ソウルでの第1回を皮切りに、第2回目を地方の中核都市金沢市で開催することになった。本フォーラムは、日中韓朝蒙露等の識者が一堂に集まり、国境を越えた東北アジア地域協力の可能性を探るための議論を交わし、新時代を切り開くための知的創造を目指す。

開催日時：2024年11月16日(土)会議：10:00～18:30時

17日(日)エクスカージョン

場所：石川県青少年総合研修センター第1研修室

形式：対面＋オンライン形式(ハイブリッド：zoom)

受付：9:00～10:00

第1部 開会式と基調講演：10:00～11:30

Opening Ceremony & Key note Speech

総合司会：朴 香花・INAF 事務局長

開会の辞とご挨拶：(20分)

平川 均・東北亜未来構想研究所(INAF) 理事長

INAF と MINASS 間の MOU 締結式

ドルジスレン(N. Dorjsuren) MINASS 所長

顧問のご挨拶：

桑原 豊・INAF 顧問・元衆議院議員

基調講演：10:20～11:20

金 泳鎬・INAF 最高顧問・元韓国産業資源部長官(30分)

劉 傑・早稲田大学教授・東アジア国際関係研究所(30分)

記念撮影(10分)

昼食 11:30-12:30

INAF 理事会・総会：11:50～12:20

第2部 12:30～14:10 ラウンド・テーブルⅠ. 日中関係の150年プロジェクト(100分)

日中関係の歴史的な検証(報告15分+討論10分)

ファシリテーター：Facilitator

佐渡友 哲・INAF 常任理事・日本大学大学院元教授

白 春岩・INAF 理事・昭和女子大学講師

第1報告：李 鋼哲・INAF 所長

テーマ：毛沢東の対日認識と日中関係

討論：林 泉忠・INAF 理事・東京大学東洋文化研究所特任研究員

第2報告：兪 敏浩・INAF 理事・名古屋商科大学教授

テーマ：鄧小平の対日認識と日中関係

討論：段 瑞聡・慶応義塾大学教授

第3報告：李 昊・東京大学大学院法学政治学研究科准教授

テーマ：習近平の対日認識と日中関係

討論：深町英夫・INAF 理事・中央大学教授

第4報告：王 培璐・INAF 研究員・早稲田大学大学院社会科学部研究科博士課程

テーマ：文化大革命の中の日本メディアの報道と特派員（仮）

討論：松本 理可子・INAF 理事・（一社）中国研究所研究員

休憩 20分

第3部：14:30～16:10 ラウンド・テーブルⅡ(100分)

世界の多極化と東アジア国際秩序の変容

（報告15分+15分+討論とフリーディスカッション）

Round table

ファシリテーター：Facilitator

川口 智彦・INAF 副理事長・日本大学

問題提起1：三村 光弘・INAF 常任理事・新潟県立大学（15分）

テーマ：朝鮮半島の平和と協力（仮）

問題提起2：石川 幸一・元亜細亜大学教授・JETRO 研究員（15分）

テーマ（仮）：東南アジアのBRICS への接近と東アジアの新しい秩序

パネリスト：Panelists（1人10分）

N. ドルジスレン・MINASS 所長（モンゴル）

Sh. エンクバヤル・INAF 副理事長・新潟県立大学

堤 一直・INAF 理事・慶熙大学日本研究所首席研究員

矢島 浩紀・INAF 理事・元NHK World News 副部長

中藤 弘彦・INAF 理事・株式会社J & Resource Japan 代表取締役

自由討論

休憩 20分

第4部 16:30～18:00 ラウンド・テーブルⅢ(90分)

コリアン・ディアスポラ越境アクターとしての朝鮮族の役割—

ファシリテーター：Facilitator

李 明花・早稲田大学日本語教育研究センター講師

基調報告：李 鋼哲・INAF 所長・朝鮮族研究学会顧問・元会長（20分）

テーマ：「朝鮮族のグローバル・ネットワークの構築に向けて」

パネリスト：Panelists（1人10分）

金 光林・新潟産業大学・全日本中国朝鮮族連合会理事

朴 香花・INAF 研究員・事務局長・中部朝鮮族連合会事務局長

金 成徳・株式会社 DigiFocus 代表取締役

許 寿童・INAF 理事・海南省三亚学院大学教授（オンライン）

金 雪・大阪経済法学大学アジア研究所研究員

韓 承軒・INAF 研究員・ソウル大学大学院（オンライン）

自由討論

休息 10分

閉会式：18：10～18:25

ステイトメント：東北アジア未来構想フォーラム共同宣言

「東北アジア地域および世界の平和・安定と協力・繁栄に向けて」

Statement: Toward to Create a peace and stability, Cooperation and Prosperity  
in the Northeast Asia and the World

閉会の辞：N. Dorjsuren ・MINASS 所長

（モンゴル、第3回東北アジア未来国際フォーラム主催団体予定）

18:30-20:30 懇親会（場所：研修センター会場に宴会テーブル）